

鎌ヶ谷市施策評価表(事後)

施策の名称	121いきいきとした生涯学習の推進		
施策のねらい(めざす姿)	市民が生涯を通じて学習に取り組み、その成果を地域で活かし、生きがいをもって生活しています。		
基本目標	1「健康で生きがいのある福祉・学習都市」をめざして	施策担当マネージャー	生涯学習部次長
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります	マネージャー氏名	小松崎 佳之

I 改革・改善内容(=施策をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	老朽化した施設の整備として図書館エレベータ改修工事を実施し、環境整備を図るとともに、多様化・専門化が進む市民の学習意欲に応じた学習機会を捉え、施設利用者や図書館資料貸出数の増加を図る。	③改革・改善内容	老朽化した施設の整備として東部学習センターの外壁・屋上防水工事及び空調設備改修工事、図書館及び学習センター、生涯学習推進センターのトイレ改修工事を実施し、環境整備を図るとともに、多様化・専門化が進む市民の学習意欲に応じた学習機会を捉え、施設利用者の増加を図る。
②①に基づく取り組み結果	平成29年度に東初富公民館の外壁、屋上改修、令和元年度に図書館のエレベーター改修工事を行った。		

II 施策の目的・概要

①目的	対象	市民	意図(対象をどうするのか)	生涯を通じて学習に取り組み、その成果を地域で活かして生きがいをもった生活をしている。
②施策の概要	市主催講座の実施や、図書館蔵書の充実などにより生涯学習に関する市民ニーズの多様化・高度化に柔軟に対応するとともに、公民館などの学習施設の改修などにより、快適な学習環境を整備することで、市民の自主的な学習活動に対して支援を行う。			
③環境分析(状況変化や今後の見込み・市民意向など)	図書館の蔵書・資料については更なる充実が求められており、市民の求める学習情報や学習方法の多様化・高度化は今後も進むことが予想される一方、生涯学習関係団体の高齢化による団体数の減少が予想される。併せて、学習情報を提供する場となる施設の老朽化に伴い修繕箇所が増加も予想される。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和元年度～2年度の施策の成果	市民の多様な学習要求に応えるため、大学との連携やボランティア団体との協働などにより各種講座を企画・実施した。また、図書館資料の更なる充実を求める市民要望を踏まえ、305,967冊に蔵書数を増やした。併せて、東部学習センターの外壁・屋上防水工事及び空調設備改修工事に伴う設計委託や各学習センターのトイレ改修工事設計委託、図書館エレベータ改修工事を行うなど、学習情報を提供する施設の環境整備を行った。						
②施策成果指標	指標名称		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値(2年度)
	i	生涯学習をしている市民割合	%	54.9	-	-	70.0
	ii	学習施設利用者数	人	324,078	271,361	122,851	400,000
	iii	図書館資料貸出数	冊	386,476	352,577	277,091	450,000
③基本事業成果指標	i	公共施設予約システムアクセス件数	件	238,814	-	-	56,000
	ii	ネット予約件数	件	13,470	16,348	21,112	15,250
	iii	学習センター登録サークル・団体数	団体	443	431	417	500
	iv	市主催講座参加者数	人	19,175	16,883	714	27,000
	v	公民館まつり参加者数	人	9,475	7,594	0	10,000
	vi						
	vii						
	viii						
	ix						
④施策の事業費	令和元年度決算	令和2年度決算	市民一人あたり事業費(2年度決算)	令和3年度予算			
事業費(千円)	262,124	265,951	(単位:円)	2,431円	362,368		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	生涯学習の推進を図るためには、学習情報を提供する施設の老朽化に対応した改修を行い、資料の充実や快適な学習環境を提供する必要がある。		
②総合評価	4未達成	③総合評価の理由	新型コロナウイルス感染症拡大防止のための事業中止に伴い、講座や事業の参加者数が減少したことや、学習センターの登録サークル・団体数は減少しているが、ネット予約件数については増加している。

V 今後の方向性

①施策の方向性	→維持
②上記方向性の説明	快適な学習環境を整えるため、図書館蔵書・資料の更なる充実を図るとともに、老朽化した学習施設の改修を計画的に継続して取り組む必要がある。
③特に重点化する事務事業	学習センター等改修事業